

サステイナブル活動部門

下水道未普及解消クイックプロジェクトによる
低コスト化について

熊本県益城町

下水道経営と環境にやさしい工法により低コストで早期の下水道整備を実現しよう

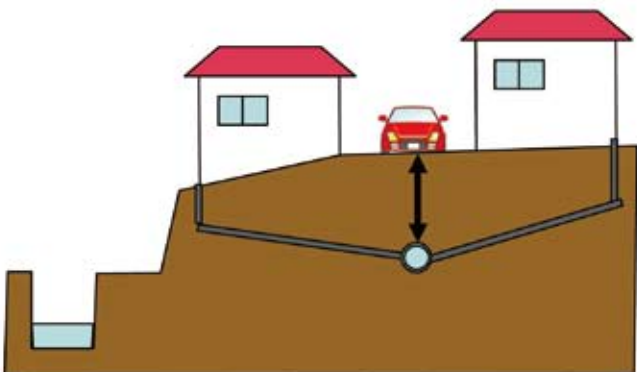


露出配管の設置状況



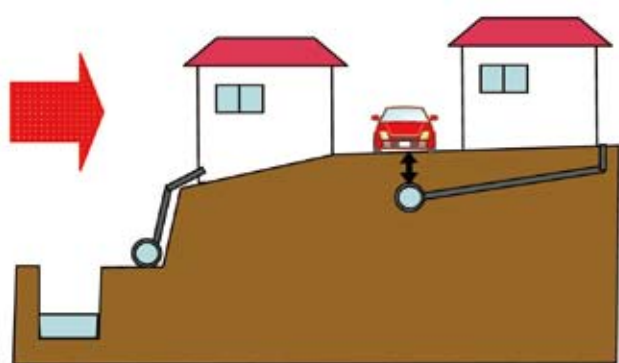
地域の貴重な水資源「潮井水源」

平均土被り 2.9m



従来の工法

平均土被り 1.3m



露出配管による工法

益城町において、公共下水道や農業集落排水施設等の污水处理施設の未普及地域は、行政人口約 33,000 人に対し、約 5,000 人に上ります（平成 19 年度末現在）。これらの地域は将来に引き継ぐべき貴重な水資源の宝庫であり山間部周辺に位置しており、持続可能な水循環型社会の構築のため、早急かつ経済的に下水道整備を行う必要があります。今回の取り組みにおいては、公道より低い敷地への管きょ整備において、従来工法である公道への埋設工法を避け、敷地の排水設備工事に有利な位置に本管を露出して布設することにより低コストかつ早期の整備を行うこととしています。